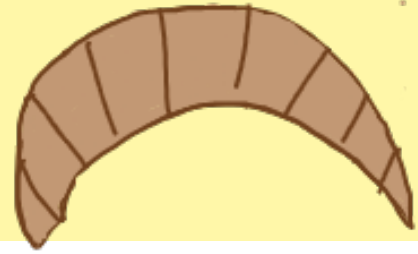


新しい食品ロス削減方法



大まかな説明

現在日本では、年間でたくさんの食料が捨てられています。そのため、様々な地域では、食品ロスを減らすための取り組みが行われています。

詳しい説明

私たちが調べた結果、食品ロス削減の取り組みで、関内にパンの自動販売機が作られたことがわかりました。

まず最初に横浜市が食品ロス削減に貢献したいと思い、ロッカー会社やパン屋さん、横浜SDGsセンターなどに協力してもらい、パンの自動販売機ができました。この自販機ができたことで、普段なら廃棄になってしまうパンも一瞬で売り切れて、廃棄が減り、またその分の労働時間が減るため、食品ロス削減に貢献しながら、従業員の負担が減っています。

伝えたいこと

食品ロス削減に向けたこのような活動に興味を持ってくれた人は、簡単でも良いので、自分ができる限りの**食品をできるだけ無駄にしない努力**をしてくれると嬉しいです。

食品ロスに対する その他の取り組み



ここでは横浜市内で行っている食品ロスの取り組みを説明します。

私達が調べた結果、約7つ見つかりました。その代表的な例を紹介します。

〈フードシェアリング〉

フードロスを削減するために登録する飲食店が廃棄するしかなかった美味しくて、まだ安全にいただける食品をお得に独自のメニュー商品として出品する活動がありました。

〈クラダシチャレンジinYokohama〉

学生が人不足に悩む地元農家での農業体験で、食品ロス削減など社会課題を学び、行動につなげる活動もありました。

〈食べ切り協力店〉

食べ残しなどの削減に取り組んでいただける飲食店食べ切り協力店と登録する活動があります。

これを読んだ皆さんがこの近くにもたくさん食品ロスの取り組みがあるということを知っていただけたら嬉しいです。ぜひ食品ロスの取り組みに関わってみてください。